

平成 19 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 トレンドマイクロ株式会社

代表者名 代表取締役社長 エバ・チェン

(コード番号 4704 東証第一部)

(URL <http://www.trendmicro.co.jp/>)

問合せ先 代表取締役 COO 兼 CFO マヘンドラ・ネギ

(T E L . 03-5334-4899)

連結財務諸表作成基準の変更および 平成 19 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は従来証券取引法および会社法における連結財務諸表（連結計算書類）を作成する際に適用する会計基準を米国会計基準としてまいりましたが、平成19年12月期中間決算から日本基準に変更することとし、またそれにより業績予想数値が変更になりますので、お知らせいたします。

1. 会計基準変更にいたる経緯

当社は平成19年4月26日および6月1日に公表いたしましたとおり、平成19年5月31日をもって米国NASDAQ市場に登録していた当社ADR（米国預託証券）の上場廃止が完了しております。また、平成19年6月27日に米国証券取引委員会（以下、SEC）に対し、SECからの登録を廃止する届出（Form 15F）を提出しております。実際に登録廃止および継続開示義務の終了が有効となる日はSECに登録廃止の届出を行った日から90日後（SECの判断によりそれ以前の日）と予想されますが、当社のSECへのForm 20-Fおよび6-Kの継続開示義務は6月27日の登録廃止の届出後直ちに停止しております。

かかる状況下、SECからの登録廃止および継続開示義務の終了は確実となっていないものの、現時点において既に米国会計基準に基づく連結財務諸表の作成および提出義務は停止しているため、当中間決算時から日本基準に基づく連結財務諸表による開示を行うことといたします。

2. 平成19年第2四半期連結業績予想数値の修正

平成19年第1四半期決算発表時に公表しておりました第2四半期連結業績予想は米国会計基準での数値でありましたが、上記の通り今後は日本会計基準に変更するため、日本会計基準に則った第2四半期業績予想は以下のようになります。

日本会計基準への変更による売上高への影響はありません。営業利益5億円の増加の主な要因は、ストックオプション費用が米国会計基準と比較し約7億円減少し、営業権の償却費が約2億円発生することによるものであります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	22,500	5,300	3,000
今回修正予想 (B)	22,500	5,800	3,700
差額 (B-A)	+0	+500	+700
増減率	0.0%	+9.4%	+23.3%

以上